

いろんな思いがまちを創る

市長 ここからは、府中市のまちづくりについて、皆さんの取り組みや思いをお伺いします。

1 賑わいづくり

まつりで育む郷土愛

市長 備後国府まつりを通じた賑わいづくりについて、大事に思うことはありますか？

松本 昨年の祭りも非常に多くの方が来ていただきました。盆踊りなどには、市民の皆さんにも参加いただき、まさに地域でつくるお祭りとして、楽しんでいただけたのではないかと思います。

地域の人が「観に行く」だけでなく、「参加できる」ことが、備後国府まつりの魅力です。今年度は、この魅力を子どもたちに伝えていきたいと考えています。特に、総太鼓での格好い姿を見てほしいですね。私が子ども頃の祭りは、とても活気があり、大人が全

力で楽しんでいた印象があります。今の子どもたちの心の中にも、祭りの楽しい思い出が残り続け、大人になっても参加したいと思ってしまう祭りです。そんな郷土愛につながる祭りを目指しています。

日常の中に賑わいや楽しさを

市長 まちの賑わい創出のために、何が必要だと思われませんか？

北川 イベントは大事だし、みんなよく頑張ってくれていると感じます。ただ、イベントだけで活性化するのは難しいので、皆さんが気軽に集まれる場所を作るといいかもしれませんね。今は、天満屋2階の「いこれふちゅう」があります。何かあるわけじゃないけど行ってみよう、「あそこに行けば誰かに会えるかも」、そんなふうには、生活の中のワクワクを感じられる場所があると思います。私くらの年齢になると、どこかの居酒屋さんに行けば、大体誰かに会えますが(笑)。府中市で言うと、「恋しき」もそんな場所であってほしいですね。お祭り通りとあわせて、もう一度活用できればと思っています。



市長 いこれふちゅうでは、利用者同士、マルシェの出店者同士など、新たな人のつながりもできつつあります。再来年には、いよいよ市民プールも完成しますので、日常的に人が集える賑わいの拠点となるよう、整備を進めていきたいと考えています。

3 産業の発展

いつか自分でお店を… 夢を叶えて地元で創業

市長 大畑さんは、空き店舗を活用して、新たにお弁当屋さんを創業されたんですね。

大畑 はい。上下の商店街の1等地が売りに出ていることを知って、「こしかなない！」と思い購入しました。半壊状態の空き店舗だったので、リフォームにはかなり費用がかかりましたが、上下では何年も新規のお店がオープンしていなかったようで、リフォームから厨房器具の調達まで、地域の皆さんが協力してくださいました。

市長 第二の大畑さんを目指すような人のために、どんな支援があればいいと思いますか？

大畑 創業の際には、上下町商工会に相談して、新規事業の補助金を活用しました。他にも持続化補助金や、新規事業開拓、販路開拓などに関する補助があり、支援は手厚いと思います。自分が使える補助金はないか、必ず確認をする

おもてなしの心を大切に、上下の魅力をアピール

大畑 上下の人工芝グラウンドは、サッカーの試合などで、県内外のたくさんの方が利用されています。そこで今、来てくださった皆さんをおもてなしするため、キッチンカーや屋台で上下のものを提供できないか、検討しています。少ない人数で運営できるかなどの課題はありますが、上下の魅力をアピールしていくためにも、ぜひ形にしたいと思っています。

2 人・つながり

みんながつながり合える場所づくり

市長 松本さんは、地域でもさまざまな取り組みをされているとか。

松本 今取り組んでいるのが、子ども食堂です。知り合いにお願い

ようにしています。

継承と変革、そして若い力が地域を変える

市長 会頭には大局的にお話を伺います。今後、府中市の産業が発展するためには、どんなことが必要でしょうか。

北川 府中市の強みである製造業も、給与水準が高い事業へと変わっていくために、デザインや機械の設計など、付加価値を高めていく事業にシフトしていく必要があると考えています。行政にも、さらに重きを置いた支援をお願いしたいです。

もう一つは、まさに2人のような若い実業家の存在ですね。新たなマーケットを開拓したり、価値を生み出したりすることは、本当に素晴らしいことです。行政も会議所もできるだけサポートしていきますし、そういう情報を伝えていくことも大事な役割だと感じました。

府中市で子育て

市長 子育て環境について、ご意見を聞かせください。

松本 子育てをしていて感じるのは、府中市は支援が手厚くて本当にありがたいということですね。ポムポムやいこれふちゅうなど、子どもが安心安全に遊べる場所があり、無料で利用できます。特にポムポムは、福山市など市外の方の利用も多いと聞いています。

北川 子育てしやすいまちの土台



ができ、これは周りからも評価をされつつあると思います。さらにもっと先の理想を言えば、「自分たちのまちは自分たちが住みやすくする」、そうやってまちをあげて、支援ができればいいと思います。その本気度が伝われば、「そんなまちなら住んでみようかな」と人を呼んでくることにつながるのではないのでしょうか。まちづくりは市や会議所がやることだというよりも、住んでいる人が、まちをどうしていきたいかという議論ができることが大事。人口が少ないからこそ、できることがあると思いますよ。